「開かずの踏切」の除去を遅滞なく着実に実現せよ

立憲民主党・無所属議員団　ひやま　隆

長年にわたる地域課題である「開かずの踏切」の除去は、当初の計画では令和３年３月の事業完了予定であったが、事業期間が６年延長され、現在は令和９年３月の事業完了に向けて進んでいる。連続立体交差事業における地下化は高架化と比較して、シールド工事における地下水対策や地中埋設物の出現など不確定要素が多く、工期の見通しが立てづらいという指摘もある。加えて、最近では建設資材価格の高騰や建設資材不足など、本事業を取り巻く環境はより一層不透明な状況である。①事業期間延長の大きな理由に用地取得の進捗を挙げていたが、その後の進捗状況と現在の工事の状況はどうか。②区民の長年にわたる悲願でもある「開かずの踏切」の除去を遅滞なく着実に実現することは、区の重要な責務である。区長の決意を伺う。

区長　①事業主体である東京都によると、用地取得は約９割を超え、必要な土地については取得に向けて地権者と折衝を進めているとのことである。工事は駅部を中心に進めており、地下構造物を構築するための仮設土留め工や掘削工、線路を仮に受けるための工事桁の設置等を実施している。②地域の健全な活動や発展を妨げている「開かずの踏切」の一日も早い解消に向けて、東京都や西武鉄道株式会社とより一層、連携・協力するとともに、まちづくりの実現に向けて努力する。

新井薬師前駅周辺における輻輳の解消を

新井薬師前駅周辺は「開かずの踏切」「狭隘な歩道」「バス通り」といった地理的条件により、特に朝のラッシュの時間帯は、通勤・通学の歩行者、自転車、車の動線が入り乱れ、非常に危険な状態にある。駅周辺の輻輳の解消は、長年の地域課題であり、一刻も早い改善が求められる。①輻輳の問題に対する区の認識は。②輻輳の解消に係る今後の取り組みは。

区長　①バス停が分散し、また車両の乗降場所がなく、通行空間が確保されていないことが課題であると認識している。②中野区画街路第３号線街路事業は、周辺の土地利用の状況等と整合を図りながら、交通広場を整備するものである。ユニバーサルデザインを導入した、誰もが利用しやすい交通広場の整備に向け、東京都や西武鉄道株式会社と連携しながら検討を進める。

中野サンプラザ閉館に伴うシティプロモーションを問う

自由民主党議員団　伊藤　正信

全国的にも有名な中野サンプラザの閉館を契機としたシティプロモーション事業については、注目度が高いと思われる。区だけではなく区民や関係団体も巻き込んで事業を進めていく必要があると考える。①事業の目指す効果は。②どのような体制で進めていくのか。

区長　①中野サンプラザの外壁を活用したプロジェクションマッピングは、区の認知度向上や地域経済の活性化を目的とし、10万人程度の来街者を見込んでいる。②補助金やガバメントクラウドファンディングの実施など歳入確保に努め、中野駅周辺の商店街、区民団体、区内事業者など多くの参画を得ながら、庁内での応援体制も組み、波及効果の高い企画を立案し、実施していく。

中野本郷小学校新校舎の供用開始について問う

区は新型コロナウイルス感染症の影響による財政の緊急事態宣言を発出し、中野本郷小学校の設計を止めたことで新校舎の開設は延期となった。また、この間に測量を不十分なまま放置したこと等で、更に供用開始が遅れることとなった。中野本郷小学校の供用開始はいつになるのか。

教育長　中野本郷小学校の供用開始は、令和９年４月を予定している。

鍋横区民活動センター等整備について地域との合意形成を

区は令和４年度中に鍋横区民活動センター等整備基本方針を策定するとしている。鍋横区民活動センターの移転先は鍋屋横丁通りの商店街など、商業地区としての賑わい、新中野駅に近く鍋横地区の地域コミュニティの中心に位置しており、従来の利用者のみならず多様な地域住民の方に活用されると期待されている。地域住民に愛着を持って長く利用してもらうためには、地元合意が得られなかった前回の反省を踏まえ、区が地域の意見をよく聞き、十分な調整を行いながら進めていくべきだと考えるが、区としての考えはどうか。

区長　地域において、町会のほか、地域で活動する団体、商店街関係者等で構成されている建設検討委員会が組織されている。より丁寧な合意形成を図るため、建設検討委員会における協議の場を増やすとともに、より広く地域住民の意見を伺う機会を設けていきたいと考えている。

沼袋駅周辺まちづくりの考え方について問う

公明党議員団　南　かつひこ

①沼袋駅駅舎の上部空間に、駅ビル等建設の構想や計画を示すように、西武鉄道株式会社や事業主体である東京都に求めるべきではないか。②区画街路第４号線交通広場の、大まかな平面図は示されているが、より具体的な景観の分かるイメージ図を示すことが必要ではないか。

区長　①沼袋駅の拠点空間整備の中で、生活利便施設の導入を検討するとともに、合わせて鉄道上部空間の活用も含め、西武鉄道株式会社や東京都と連携し、生活拠点にふさわしいまちづくりを進めていく。②バス、タクシー乗降場の位置や、交通処理の検討を進めているところであり、広場内の施設配置や機能などについては、鉄道上部空間の活用検討状況や社会情勢等を踏まえ計画し、地元にもイメージを示していきたい。

特色を生かした新井薬師前駅・沼袋駅間の上部空間整備を

中野駅周辺との回遊性を含めた商業的な活性化や、哲学堂公園などの文化財の活用も必要ではないか。

区長　文化財などの地域資源や、中野駅周辺と連携する人の動線を視野に入れた、魅力ある空間の創出を目指したい。

空き家対策の充実を図れ

①自治体が空き家の所有者と活用事業者との間を取り持ち、マッチングして利活用する手法が重要と考えるが、区はどのように対応しているか。②木造住宅除却工事助成事業は、区の空き家対策として非常に効果があり、より一層周知徹底していき、空き家の解消に活用すべきと考えるが、区の見解は。

区長　①空き家総合相談窓口において、空き家の所有者等からの法律や不動産、建築等の様々な専門的な相談にも、民間団体等が連携して対応し、賃貸や売却等の利活用にもつなげる体制となっている。②木造住宅除却工事助成を含めた耐震化促進事業は、建築物の耐震性向上を図ることにより、震災から区民の生命と財産を守ることを目的としており、対象となる建築物には空き家も含まれる。

中野駅周辺エリアマネジメントを問う

日本共産党議員団　いさ　哲郎

①エリアマネジメントビジョンの検討に当たっては、人口減少や経済の行き詰まりなど、社会情勢の変化について議論を行ったか。②エリアマネジメント協議会に区民が参加し、その意見を反映させる具体的な仕組みを保障するべきではないか。

区長　①将来の人口推計などのデータも参考にしながら、構成員同士が議論を重ねてきた。今後も必要な情報等については、適宜参照していくものと考える。②一般区民の参加については、他地区の事例を研究していきたい。

自転車利用の需要に即した駐輪場整備を

日常的な利用者のため、中野駅周辺に小規模な駐輪場を点在させるべきと訴え、空き店舗の活用や民間企業による駐輪場整備を提案してきた。中野区自転車利活用計画（素案）に、こうした指摘の内容が盛り込まれたことを評価する。計画の推進に当たっては、駐輪場の需要予測と設置場所のマッチングが必要では。

区長　商店街との連携や新たな事業手法導入の検討を進め、効果的な民間自転車駐車場の整備を促進していく。

コロナ禍におけるフレイルのリスクに関する認識を問う

外出や知人と会う機会が減少することで、フレイルのリスクが倍増するとの調査結果がある。当区でも介護認定更新の際に、重度化した利用者が増えているのではないか。

区長　緊急事態宣言発出前の令和元年度と令和３年度を比較すると、要介護１から４については認定率の上昇が認められる。やや重度化が進行したと認識している。

地域猫共生推進員制度の事業展開を問う

①これまで求めてきた不妊去勢手術などの個人への助成が、この制度により実現することを評価する。区報等による制度周知のほか、町会にも協力してもらい、お知らせ板等により周知を広げることを検討してはどうか。②猫を巡るトラブルについては、ボランティア任せにしないで、区が間に入って調停するような仕組みも検討してはどうか。

区長　①町会掲示板等を含め、効果的な制度周知を図っていく。②警察、関係団体、区などが協働して、トラブルに対応してきた。他自治体の事例を参考にしながら、改善に努めていく。